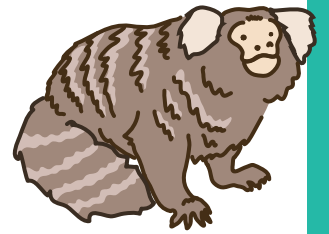


# 社会 のため

動物・人間・保全すべてにかかわる

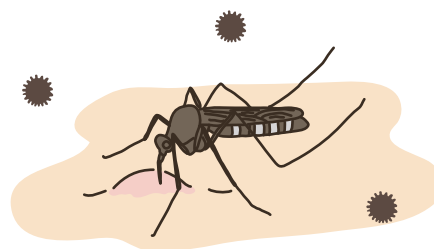
# 社会に影響を与えてしまう



多くの人の命を奪い、社会や経済にも大きな影響をあたえた新型コロナウイルスも野生動物がもっていた病気なのではないかと考えられています。野生動物をペットにすることは社会に大きな影響を与えるリスクがあることを知っておかなければなりません。



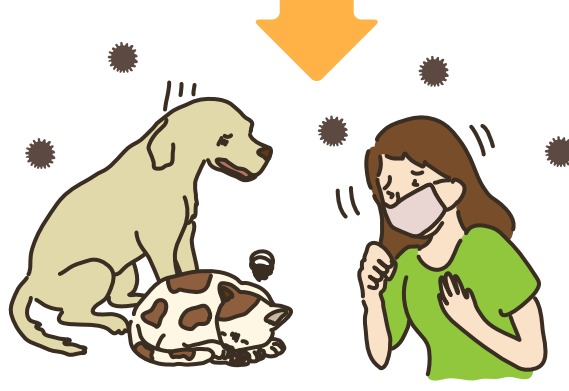
密猟された動物たちは病気をもっているかわからないまま日本に持ち込まれてしまいます。



動物の身体についたダニや蚊が、病気を広げてしまう例もあるため多くの人に関わる問題です。



人から動物に移った病気はペットだけでなく産業動物にも移ります。何万頭もの殺処分がおこなわれることがあります。



人から動物に移る感染症もあります。友達や同僚のペットたちを苦しめてしまうことに繋がります。

ペットと暮らすことを  
今一度きちんと考えてみよう



動物にはペットとして飼えるものと、不向きなものがあります。長く人と暮らしてきた犬や猫などは病気の種類や治療法もわかっているものが多く、ワクチンや薬で病気を予防することができます。昔から人は人と一緒に暮らしていける動物を見極め、共に暮らせるよう努力をしてきました。そして適さない動物に対しては一線をおいて共存してきたのです。ペットは愛情だけでは生きていけません。毎日の適切な世話が必要不可欠です。「飼いたい」と思った動物と一緒に暮らしていける動物なのか？責任をもって最後まで飼育できるか？人、動物、社会、すべてに関わる問題にしっかり向き合って考える必要があるのです。